



Informazione n.1

カマルドリ 2023年6月9日

親愛なる姉妹たち、養成中の若い人たち、師イエスの友、ミッションの協力者、パウロ家族のメンバーの皆さん、
ようやく皆様にご報告できます。

6月3日、世界各地から集まった全員の顔で彩られ、緑に包まれたこのオアシスから、わたしたちは愛情を持って皆さんにご挨拶を送ります。

ローマの聖師イエスの大聖堂で開会のミサを捧げた時、アンジェロ・デ・ドナティス枢機卿の言葉が印象的でした。枢機卿は、識別は恵みの賜物であり、わたしたちの目を開き、神が行う不思議を見るための目薬は聖霊であると強調されました。



喜びと不安、そして人生の一部である予期せぬ出来事を抱えながら、わたしたちはカマルドリに到着し、姉妹たちに歓迎されました。

6月4日から7日まで、わたしたちは Sr.エレナ・ボセッティの情熱的な指導のもと、霊操を体験しました。そして、福音の女性たちを通して、従うこと、宣べ伝えることの美しさを味わいました。





6月8日の午後、わたしたちは名前を呼ばれ、「eccomiここにいます」と答え、第10回総会の正式な参加を証明する署名の後、みことばに従って行列して総会の会場に入りました。その後、会場では、総会規則や日程表の承認、役割につく姉妹たちの任命、各種委員会の設置など、正式な手続きが行われました。

わたしたちの総会をフォローする進行役（ファシリテーター）は、ボルドー（スペイン）の聖家族修道会の Sr. マリアン・ムルシアで、わたしたちはこの方と一緒に総会の霊的識別に関するすばらしい考察を分かちあいました。Sr. マリアンは、「創立者を鼓舞したのと同じ霊が、ここカマルドリに集まったわたしたちの心の中にも、また、この



『正式な』修道会の経験を生きて、この家にいるすべての姉妹たちの心の中にも働いています」と教えてくださいました。わたしたちは、このことがあなたたちを元気づけ、わたしたちの交わりをより深く感じさせてくれると確信しています。「わたしたちが生きよう求められている識別は、それぞれのシスターが全体の利益、修道会の活力と今日の使命に真に関心を持つことを要求しています」。

わたしたちは、そのキーワードが「ともに」であることを理解しました。わたしたちはすでに、シンプルで豊かな典礼の祈り、楽しい時間、傾聴、対話、そして姉妹たちのさまざまな現実を相互に知ることで、それを実践しています。

聖霊は音叉のようにわたしたちに「ラ」を与えてくださいました... 今度はわたしたちが素晴らしいシンフォニーのために音を合わせる番です。

わたしたちは皆さんの祈りをお願いしながら、サイト <http://www.pddm.org/10-capitolo-generale/> を訪れてくださればと思います。ここでは、わたしたちが歩んでいる道のりをたどることができます。画像、ビデオ、参加者のプロフィール、フランシスコ教皇のメッセージ、その他あらゆるものが、この聖霊の出来事について少しずつ語っています。聖霊は、出会いの美しさと派遣の喜びの中であって、わたしたち自身を再確認すること

によって主イエスが望んでいる場所へとわたしたちを導いてくれるでしょう
（わたしたちはそれを確信しています）。
皆さん、わたしたちに付いて来てください！.

次回まで。

インフォメーション委員会
Sr. マリア・デ・ラ・パス・カルボナーリ
Sr. M. エンマヌエラ・ヴィヴィアーノ